

- ① 祢布ヶ森遺跡公園
日高総合支所の前に「祢布ヶ森遺跡公園」があります。
- ② 国分寺跡 塔礎石
塔の礎石2基が、奈良時代そのまま保存されています。
- ③ 国分寺跡 南大門礎石
護国山但馬国分寺（浄土宗）の境内には、南大門出土とされる礎石が保存されています。
- ④ 国分寺城跡
延徳3年（1491）～天正8年（1580）まで使われていた山城です。本丸や堀などが残っています。
- ⑤ 国分尼寺跡 礎石
今でも2基の礎石が残っています。
- ⑥ 糸里地割
糸里とは、古代の土地区画制度。約109mの正方形に土地を区画しました。正方形の地割が残っています。
- ⑦ 深田遺跡
祢布ヶ森遺跡と同様に、国府に関連した遺跡です。
- ⑧ 宵田城跡
垣谷氏の城で、永享2年（1430）に築かれました。本丸や石垣、堀などが残っています。



但馬国府・国分寺
遺跡散歩マップ

0 500m

にょうがもり

① 祢布ヶ森遺跡公園

祢布ヶ森遺跡は、平安時代の国府（今の県庁）の跡。
日高総合支所の前は、「祢布ヶ森遺跡公園」として整備され、
遺跡が大切に保存されています。



祢布ヶ森遺跡の発掘調査

② 国分寺跡 塔礎石

とうそせき

但馬国分寺跡の塔の礎石が、奈良時代の創建当時のままで保存されています。丸いものは、塔の東南隅の礎石。平らなものが、塔の心礎（塔の中心にある礎石）です。心礎は上半分が打ち欠かれています。



但馬国分寺 塔跡

③ 国分寺跡 南大門礎石

現在も「但馬国分寺」の法灯を受け継ぐ、護国山但馬国分寺（浄土宗）。この境内には、南大門出土とされる礎石が保存されています。石材は、神鍋山の溶岩です。



南大門の礎石

④ 国分寺城跡

延徳3年（1491）～天正8年（1580）まで使われていた山城です。幅15m、長さ20mの本丸や、堀などが今でも残っています。



国分寺城に残る堀

⑤ 国分尼寺跡 礎石

「国分寺」には、僧寺と尼寺がありました。但馬国分尼寺跡には、今でも2基の礎石が残っています。そのうち1基は、お地蔵さんの台石となっています。探してみましよう。



但馬国分尼寺跡の礎石

⑥ 条里地割

じょうり

条里とは、古代の土地区画制度。約109mの正方形に土地を区画しました。今でも正方形の地割が残っています。

⑦ 深田遺跡

祢布ヶ森遺跡と同様に、国府に関連した遺跡です。今は道路の下にあり、静かに眠っています。

⑧ 宵田城跡

よいだ

かきや

垣谷氏の城で、永享2年（1430）に築られました。本丸や石垣、堀などが残っています。本丸跡からは、日高の市街地が一望できます。



空から見た日高の条里地割